

新入職員が農作業を体験

5月8日(月)から14日(日)にかけて、当J Aの新入職員を対象に農業体験研修をおこないました。

4月に入組した新入職員4人が2班に分かれ、J A越後おぢや管内の「農事組合法人うちがまき絆」と「株式会社アスカ冬井」の協力を得て、それぞれ5日間ずつ農作業を体験しました。

当日は、里芋の定植や各種水稲の田植などの作業をおこないました。



▲田植え機に苗を運ぶJ A職員

同研修は、農業経験のない新入職員が、実際に農作業を体験することで、J A事業の基本である「農」を知り、農業の大変さ、難しさを実感し、今後の仕事に生かすことが狙いです。また、生産者とのふれあいを通じ、J Aの役割やつながりを理解するように、平成26年から実施しています。

J A職員を受け入れた「株式会社アスカ冬井」の真島文夫代表は、「この研修を通じて農家の立場・大変さを感じてもらいJ Aに戻って活かしてもらえれば」と期待を語りました。参加した千田支店管理金融課の高橋優香は「思った以上に大変だった。この経験を活かし、組合員の皆様が来店した際は苦勞されていることをふまえて対応していきたい」と感想を話しました。

小千谷の特産品ずらり

【小千谷市農村都市交流協議会】



▲小千谷産コシヒカリを買い求める来場者

4月22日(土)、小千谷市農村都市交流協議会は、杉並区の小千谷学生寮協広場で、小千谷フェアを開催しました。

小千谷産のお米や季節の野菜・地酒などが並び、区民や地域住民が大勢集まりました。同フェアは、前年に引き続き毎月1回開催予定です。当J Aからは小千谷産のコシヒカリを販売し好評を博しました。

サトイモ定植機研修

【小千谷里芋栽培組合】



▲定植機の操作説明を聞く生産者

5月2日(火)、当J A管内のサトイモ生産者で組織する「小千谷里芋栽培組合」は定植機の研修会を開きました。生産者やJ A職員など約20人が参加しました。J A全農にいがたの協力を得て、定植機旋回時の注意点や開口部の設定方法などを確認しました。同組合は5月4日～5日にかけて共同で市内各地の畑を回り定植作業をおこないました。

通常総会開く 「活発な活動を」

〔JA青年部〕



▲あいさつする新役員

5月23日(火)、JA青年部は、グリーンパークで通常総会を開きました。

青年部盟友やJA関係者ら約40人が出席。平成28年度活動報告・平成29年度活動計画・役員改選などが承認され、新役員として山新田支部の細海正さんら4名が選ばれました。

新年度は各種イベント等に積極的に参加し、青年部員の増加を目指します。

補助教材 小学校へ寄贈



▲補助教材を手渡す谷口組合長(左)と松井教育長(右)

5月10日(水)、小学生に農業への理解を深めてもらう事を目的に、農業と食をテーマとした補助教材約360冊と10万円分の図書カードを小千谷市教育委員会を通じて市内小学校に寄贈しました。松井周之輔教育長は補助教材を受け取り「米以外にどんなものが県内で作られているのか知らない児童が多い。食育に役立てたい」と話しました。

健康情報ひろば



住み慣れた自宅で
自分らしく生活できる
ようにお手伝いします

小千谷訪問看護

ステーションひまわり

主任看護師 佐藤まゆみ

はじめまして

小千谷訪問看護ステーションひまわりです。

平成29年4月1日に厚生連魚沼病院と公益財団法人小千谷総合病院の統合に伴い、訪問看護ステーションも2事業所が1事業所となり新病院内に事業所を置いて現在6名体制で訪問看護を行っております。小千谷地域で唯一の訪問看護ステーションです。

ご利用者様が住み慣れたご家庭で自分らしく暮らせるようにかかりつけ医師の指示のもと心と身体に寄り添うきめ細やかな看護を提供して参りたいと思います。

また、ご利用者様だけでなくご家族からも気軽に相談して頂けるステーションを目指します。どうぞよろしくお願ひします。

3つのサポート

1、住み慣れたご家庭での療養生活の為、ご家族から医療・保健・福祉までの横のつながりを大切に、それぞれの角度から皆様を支えます。

2、健康の在り方は人それぞれです。コミュニケーションを大切に、しっかりと話を伺った上で、個々に応じた看護サービスを一緒に考え、毎日が笑顔で過ごせるようにお手伝い致します。

3、訪問看護スタッフは経験豊かな実務経験を持った看護師です。豊富な知識と確かな技術で皆様へ安心をお届けいたします。24時間連絡体制、緊急時訪問も行います。

申し込みについて

介護保険をご利用の方は担当介護支援専門員(ケアマネ)にご相談下さい。

医療保険ご利用の方は主治医にご相談になるか、直接訪問看護ステーションにお申し込み下さい。どんな小さな事でもご相談下さい。ご利用者様、ご家族様の思いに寄り添う「看護」を提供したいと思ひます。